

令和5年度

事業報告書

特定非営利活動法人 日本BPW連合会

1 事業の成果

2023年度は“New Actions through Cooperation”というBPW Internationalの2021～2024年のテーマに沿って、国内の活動について、統一テーマ「SDGs達成の要 ゴール5：ジェンダー平等実現へ加速！」を掲げ、男女格差解消に向けて対面とオンラインで様々な活動を展開してきた。

また、2021年度に申請し、審査を受けていた国連経済社会理事会（ECOSOC）の協議資格について、2023年7月25日に、「特殊協議資格」が与えられた。これにより国連本部入館証（Ground Pass）を自前で確保できるようになっただけでなく、国連での活動に際して様々な権利と義務を有することになった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【8,953】千円）

定款記載事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)	
ナ ー の 開 催 、 書 籍 の 出 版 に 関 する 事 業	イコール・ペイ・デイキャンペーン実施 男女の賃金格差を「見える化」する運動。男性の1年分の賃金と同額を女性が手にするには、余計に働かなくてはならない。1年を超えて同額になる日をイコール・ペイ・デイ（EPD）として、HP 掲出・WEB アピール活動、EPD オリジナル付箋配布による啓発や、各地の自治体や関係部署、経済団体等への要望書提出等。 国立女性教育会館（NVEC）「男女共同参画フォーラム」におけるオンラインパネル展示。	4月28日 他 11月15日～12月21日	東京他全国各地 Zoom オンライン	40名程度 8名	全国の女性労働者 フォーラム参加者	不特定多数 不特定多数	365	
	イコール・ペイ・デイ全国会議 後援：内閣府男女共同参画局・厚生労働省 政策説明：厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課長 安藤英樹氏 基調講演：「日本の男女賃金格差はなぜ大きいのか：必要な対策とは」講師：早稲田大学政治経済学術院政治経済学部教授 大湾秀雄氏 EPD アピール(2023)の採択： アピールはHPに掲出し、後日厚生労働省、内閣府男女共同参画局、他関係各所に提出。	9月18日	渋谷区及びZoom	15名	会員・一般市民	84名		
	ヤング・スピーチコンテスト全国大会 女性が社会的地位を獲得していくために、自分の意見を上手にアピールするスキルを磨く目的で「仕事と私」というテーマでコンテストを実施。	5月27日	長崎市及びZoom	若干名	会員・一般市民	98名		95
	表彰・顕彰事業 平松昌子賞 ジェンダー平等の実現を目指し長年尽力してきた故平松昌子前理事長の功績を讃え、彼女の業績が大きな灯火となって、ジェンダー平等実現に進む道を照らし続けることを願い、2022年度に「平松昌子」賞を新設。授賞の対象者は女性の地位向上と	5月27日 -	オンライン・メール -	5人 -	一般市民 -	1人 -		8

定款 記載 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	受益 対象者 範囲	受益 対象者 人数	事業費 (千円)
	ジェンダー平等の実現に向け貢献してきた人。第1回受賞者は赤松良子氏。長崎大会にて発表。 BPW パートナーシップ・エバリュエーション賞 行政と NGO の協力関係を強化するため、行政の女性政策を評価し表彰。2023 年該当なし						
	GGGI の広報啓発事業 セミナー実施 「GGGI125 位（過去最低）から抜け出すために何ができるか」をテーマに、経済、政治、教育、健康の4分野に関して BPW 連合会理事長による基調講話の後、グループディスカッション。行動宣言を発表。 ※ 和歌山クラブと共催	10月21日	和歌山市+Zoom	若干名	会員・一般市民	39名 23名	78
	SDGs の広報啓発事業 オリジナル SDGs バッジによる普及活動	通年	全国	2名	会員・一般市民	不特定多数	9
	WEPs(女性のエンパワメント原則)の広報啓発事業 「WEPs 日本連絡会」の構成団体として広報・啓発活動を推進のための情報交換。	3月1日	Zoom	2名	-	-	-
	内閣府男女共同参画推進連携会議への積極的参加、チーム活動 会議への出席、情報発信 HP での広報。	通年	千代田区	若干名	-	不特定多数	2
	全てのハラスメント・性暴力の根絶を訴え ホームページにて表明。	6月4日	国内外	15名	会員・一般市民	不特定多数	3
	男女共同参画に関する事業全般の管理業務	通年	渋谷区	15名	-	-	390
ミニナーの開催、広報活動に関する事業	全国大会 ・パネルディスカッション 「産学官民で達成する SDGs ～ Diversity, Equity & Inclusion の取り組みと真のジェンダー平等実現に向けて～」 経済、政治・行政、教育、健康・人権の4つの領域で活躍するパネリスト各2名が、それぞれの仕事や活動における DE&I への取り組みや産学官民の協働について対談形式で説明。その後、4名が登壇して討論。 ・分科会(ワークショップ)開催 「DE&I: Diversity, Equity & Inclusion で SDGs 達成を加速しよう」をテーマに経済、政治・行政、教育、健康・人権の4領域で分科会に分かれて討論。(政治・行政のみ Zoom とのハイブリッド) ・長崎宣言採択 宣言は 6/28 に内閣府男女共同参画局、6/30 に厚生労働省および文部科学省を訪問のうえ提出し協力を要請	5月27日	長崎市及び Zoom	若干名	会員・一般市民	98名	1,451
	ブロック研究会開催 2023 年度より、東西の2ブロックで年間活動テーマに合致した研究会を開催。 リーフレットを配布し PR。	11月11日 1月27日	高松市+Zoom 名古屋市+Zoom	若干名 若干名	会員・一般市民	61名 57名	220
	各地域での一般参加の講演会・ワークショップの企画開催	随時	全国	-	会員・一般市民	不特定多数	-
	会報発行 活動の報告と、一般市民への広報・啓発ツールとして活用。	5月28日	国内外	15名	会員・関係者他	約300名	538

定款記載事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
	ホームページ運営 当会の目的に賛同者を得て、活動を活性化するために、組織内外への広報・啓発としてホームページを運営。	通年	国内外	5名	会員・一般市民	不特定多数	28
	ニューズレター発行	8月15日 1月22日	全国	5名	会員・一般市民	不特定多数	51
	BPW 認知度アップ、連帯活動のためのツール頒布、広告掲載 BPW グッズ (ポストカード等)、関連書籍等頒布。 SNS (Facebook、Instagram) 等を通じた普及啓発。	通年	国内外	5名	会員・一般市民	不特定多数	48
	渋谷区ふるさと納税を活用した認定 NPO 法人支援事業に参加 指定業者として BPW の活動を紹介し寄附を募った。	11月1日 ～12月31日	全国	2名	会員・一般市民	不特定多数	—
	女性の能力発揮のための支援呼びかけ・支援メッセージ拡散	通年	国内外	若干名	会員・一般市民	不特定多数	—
	職業能力開発・広報に関する事業全般の管理業務	通年	渋谷区	15名	—	—	390
(3) IFBPW ※1 に加盟し、目的を同じくする他の国内外の組織との連携を図るための事業	国際 BPW 加盟・連携	通年	—	—	全会員	233名	919
	国連 CSW インターン派遣事業 国連女性の地位委員会 (CSW) にインターンとして国内の国際的な女性の問題に取り組む意欲のあるヤング世代女性を募集し、参加指導。 第 68 回 CSW 参加及び協力 パラレルイベント開催 “Economic Challenges among Single-parenting Mothers and their Children in Japan (日本社会における子づれシングルの経済的困難について)” サイドイベント(日本政府と NGO の共催)への参加 国連日本政府代表部ブリーフィング参加・意見交換	10月～ 3月11日 ～22日 3月14日	ニューヨーク及びオンライン	11名	若い女性対象 一般公募 会員・一般市民	3名 不特定多数	1,339
	第 67 回 CSW インターンによる報告会開催 インターン活動報告会「女性をめぐる世界の動きに触れて」を企画実施。 第 67 回 CSW インターンによるワークショップ開催 国立女性教育会館 (NVEC) フォーラムでワークショップ「『おもてなし』の裏にある課題～ジェンダーの観点からみた観光業～」を企画実施。	7月30日 12月7日	オンライン	9名	会員・一般市民	不特定多数	
	「平松昌子メモリアル基金」 フィッシュ財団より、2022 年度から 3 年間「平松昌子メモリアル基金」を使途特定寄附として受け、インターン派遣事業のイベント開催補助等に充当。	11月15日～12月21日 3月11日～22日	ニューヨーク及びオンライン	15名	会員・一般市民	若干名	920
	国連経済社会理事会 (ECOSOC) 特殊協議資格 資格取得後、お祝い会開催。 CSW68 では国連本部入館証 (年間) を取得し活用。	7月25日 12月17日 3月11日～22日	オンライン 千代田区 ニューヨーク	15名	会員・一般市民		345
	IFBPW 活動 アジア太平洋地域ヤングシンポジウム参加 アジア太平洋地域ヤング代表ミーティング参加 アジア太平洋地域会議参加	4月21日～22日 8月11日 11月5日～8日	台湾 オンライン バーレーン王国	2名 1名 3名	各国の会員	各国の会員多数	599
	IFBPW 規約改正についてのアジア太平洋地域会議	2月14日	オンライン	1名			

定款 記載 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	受益 対象者 範囲	受益 対象者 人数	事業費 (千円)
	IFBPW 規約改正についての International Board Meeting リーダーズサミット・クリアファルチャディナー参加 その他報告 ・年度初めの APRC*1 と東アジア SRC*2 への活動報告 ・四半期毎の APRC と東アジア SRC への活動報告 ・IFBPW 会計担当への会計報告 *1 APRC: Asia-Pacific Regional Coordinator *2 SRC: Sub Regional Coordinator	2月17日 3月8～9日 随時	オンライン ニューヨーク メール	2名 5名 1名			
	国際交流 マレーシア・サバ州政府訪問団対応 ドイツBPW 訪問団対応 ツインング 北九州クラブが台中クラブを訪問。 東京クラブがダーウィングクラブと調印・交流。	2月2日 6月24日 10月20 日～22日 3月16日	東京 東京 台中・メ ール・オン ライン	4名 3名 4名 10名	会員	—	32
	JWLI 事業協力 ボストンで実施される「日本女性指導者育成 (JWLI) 事業」及び関連事業の広報活動協力。HP/メール等での情報拡散等。	随時	メール・オン ライン	2名	会員・ 一般市民	若干名	—
	他団体連携 国際婦人年連絡会や国連 NGO 国内女性委員会、クオータ制を推進する会等に所属し役員として活動。また男女共同参画推進連携会議に議員として参画。国内外の男女共同参画社会形成・推進という目的を共有する団体と連携してイベントの実施や要望書提出、署名活動の協力等を行う。	通年	主に東京 オンライン	10名	全国の 関係団体所属 者・一般 市民等	不特定 多数	40
	地域団体連携 各地域で活動する他団体との連携や交流。連合会として開催する事業を各都市で開催する際に、地域の女性団体なども協力して事業を実施。	通年	全国	約30 名	団体関係 者・会 員等	不特定 多数	—
	国際・他団体連携に関する事業全般の管理業務	通年	渋谷区	15名	—	—	390
援 事業 ※2	(4) 女性活躍支 ネパール災害被災者支援事業 支援先として加藤恒久教育基金から申請があり、連合会役員会にて検討。連合会理事からも承認を得て支援決定。2023年11月に発生した地震の被災地にて女性・少女・妊婦への支援に充てられた。	11月～12 月	メール・オン ライン	5名	—	—	303
	女性活躍支援に関する事業全般の管理業務	通年	渋谷区	15名	—	—	390

※1 IFBPW=The International Federation of Business and Professional Women

※2 女性活躍支援のための募金及び非営利団体の女性支援活動に対する寄付事業

(2)その他の事業

(事業費の総費用【230】千円)

定款 記載 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	受益 対象者 範囲	受益 対象者 人数	事業費 (千円)
(1) 教育・ 研修 事業	ダイバーシティ・エドゥケーター養成講座事業 開講講座 ・ハラスメント対応講座 (基礎) ・ハラスメント対応講座 (応用) ・防災担当者向け講座「地域防災を考える」 ・NPO 活動必須! 報告書・出版物の編集・校正の達人になろう! ・男女共同参画の基礎知識 ・伝わる技術を身につける	7月30日 8月20日 8月18日 8月24日 9月10日 10月4・11 日	Zoom	6名	会員・一 般市民	延べ 77名	199

<ul style="list-style-type: none"> ・働く女性が男女共同参画の視点からおさえておきたいポイント ・リスクマネジメントとダイバーシティ ・国や文化が異なるパートナーとの共創、Win-Winに導くための交渉術 ・社会医学から見たジェンダーと多様性のとらえ方 ・女性のための選挙 DX～あなたらしい選挙活動の仕立て方～ ・事例から学ぶリスクマネジメント ・身近なDVに気づこう！ ・外国人現場労働者の日本社会への包摂 DE Cafe(有資格者の会)実施	10月7日					
	<ul style="list-style-type: none"> 10月26日 11月18日 11月23日 11月25日 11月28日 ・12月6日 12月1日 12月12日 11月25日 					
ダイバーシティ・エデュケーター資格認定事業 申請審査・認定業務	12月29日	オンライン	10名	会員・一般市民	3名	31